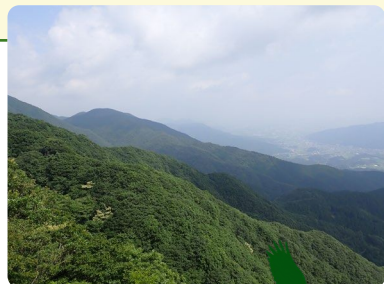


福岡市でみられる鳥類

福岡市で行われた令和7年度の調査では、19目60科233種の鳥類が確認されました。ここでは調査で確認された鳥たちを紹介します。



「生物多様性ふくおか戦略」（平成24年度）より引用



山でみられる鳥類

福岡市には標高が1,000mを超える脊振山、標高が低い油山や立花山などの山があり、多くの鳥類の休息場所や繁殖場所になっています。

樹林内では、春から夏の繁殖シーズンにカッコウ、ホトトギス、ジュウイチ、サシバ、アカショウビン、ヤイロチョウ、コシアカツバメ、センダイムシクイ、クロツグミ、キビタキ、オオルリなどが現れ、秋から冬には厳しい冬に暖かい地方で過ごすためにエゾビタキ、オシドリなどのカモの仲間やノスリ、ミヤマホオジロ、ルリビタキなどの冬鳥が飛来します。



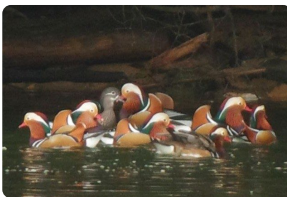
ルリビタキ



アカショウビン



センダイムシクイ



オシドリ



サシバ



アオゲラ



キビタキ



カケス



ユリカモメ



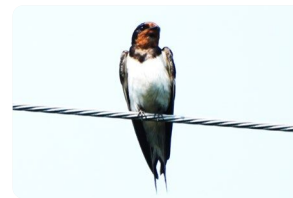
イカル



ササゴイ



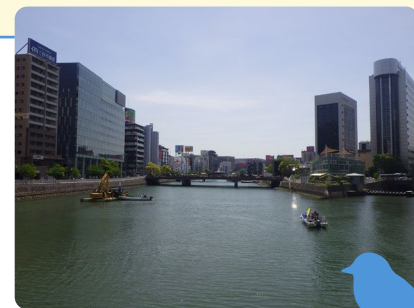
コムドリ



ツバメ



ヒドリガモ



市街地でみられる鳥類

福岡市には、舞鶴公園や大濠公園などの公園や、那珂川や室見川などの河川があります。多くの人で賑わう公園や水辺は、鳥たちにとっても重要な生息場所となっています。春にはツバメやササゴイなどがみられます。ツバメは家の軒下などで子育てを行い、公園や河川周辺で昆虫を捕らえます。秋にはイカルやコムドリなどがみられ、コムドリは渡りの途中で公園の樹木などを利用します。冬にはユリカモメやヒドリガモなどが飛来し、水辺で観察することができます。



里山・田園でみられる鳥類

糸島半島に続く西区の広大な田園風景や室見川が流れる脊振山のふもと一帯は福岡市を代表する里山環境です。また、南区には花畑園芸公園があります。

春から夏、広い草原や田畑にはコチドリやタシギなどのシギ・チドリの仲間やダイサギ、アマサギなどのサギの仲間が昆虫などの食べ物を探す様子が観察されます。

秋から冬にかけては、アトリの群れや狩りをするチョウゲンボウなどが観察されます。



キジ



コチドリ



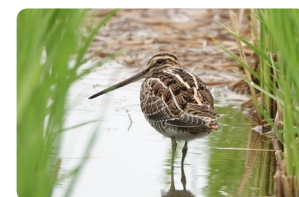
アトリ



アマサギ



チョウゲンボウ



タシギ

福岡市でみられる鳥類



コガモ



アオサギ



カワセミ



オオヨシキリ



カイツブリ



バン



イカルチドリ



カワガラス



オナガガモ



河川でみられる鳥類

福岡市を流れる河川の代表的なものとして、東区の多々良川や南区の那珂川、早良区の室見川などがあります。

河川を利用する鳥類としては、アオサギ、コサギ、タシギ、コチドリなどが餌を探す様子が観察されます。

河川を利用するサギ類やカワセミなど、多くは福岡で一年中みられる鳥類（留鳥）で、ほかの鳥類については採餌や休憩のために一時的に飛来してきたものが多いようです。



砂浜や岩礁の海辺でみられる鳥類

西区や東区には、砂浜や岩礁が広がる海岸線が延びています。護岸のない、自然的な海岸には防風林としてマツが植えられ、独特な海岸性の植物（海浜植生）が見つかります。

岩礁には、春から夏にかけて、クロサギ、チュウシャクシギ、秋から冬にかけては、ヒメウ、オオセグロカモメが観察されています。砂浜では、シロチドリが、海岸の上空には、ハヤブサやミサゴが観察されています。また、防風林では、センダイムシクイ、キクイタダキ、ビンズイなどの鳥たちが観察されます。



クロサギ



ヒメウ



オオセグロカモメ



ハマシギ



ビンズイ



ホウロクシギ



ミサゴ



シロチドリ



ソリハシシギ



ハヤブサ



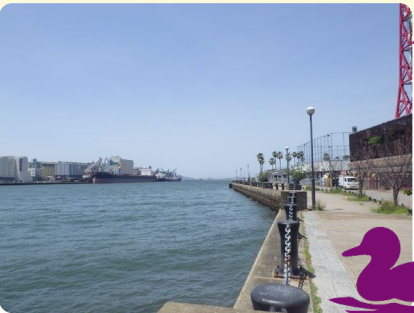
ウミウ



メダイチドリ



トウネン



港付近でみられる鳥類

博多湾と福岡の街との強い結びつきを示す港湾には、コアジサシなどの海鳥が飛来し、海上には、カンムリカイツブリ、ウミアイサなどが観察できます。



カンムリカイツブリ



カモメ



イソヒヨドリ



ウミネコ

福岡市でみられる鳥類

福岡市には、志賀島や能古島、小呂島、玄界島などの離島があり、離島は人間の開発が及ばないことが多いため、珍しい野鳥が観察されることがあります。

令和7年度の調査では、玄界島が福岡市内で唯一の生息地となっているカラスバトが、四季全てで確認できました。小呂島の樹林地ではブッポウソウが、外海ではオオミズナギドリやカツオドリが確認されています。



島でみられる鳥類



ブッポウソウ



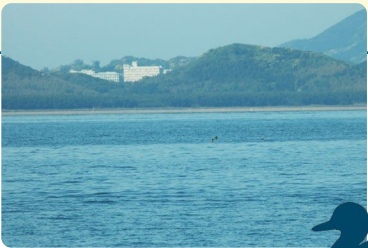
オオミズナギドリ



コシアカツバメ



カツオドリ



海洋でみられる鳥類



海の沖合は、海岸とはまた違った環境になっています。

博多湾の沖合では、オオミズナギドリが生息しています。また、冬から春にかけては、暖かい九州の海に冬鳥として、オオハムやシロエリオオハム、ヒメウ、シノリガモ、クロガモなどの珍しい海鳥がみられます。

海洋域は、博多湾内・外海ともに冬季から春季にかけて、多くの鳥類が飛来する様子が観察されます。



クロガモ



オオハム



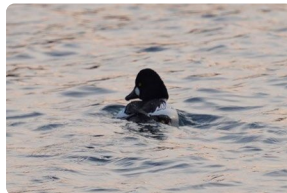
ウミアイサ



カンムリウミスズメ



シロエリオオハム



ホオジロガモ



希少な鳥類

令和7年度調査では、多くの希少な鳥類が確認されました。希少な鳥類とは環境省のレッドリストや福岡県のレッドデータブックなどで「重要な種」として指定されている種です。



福岡県の希少野生生物
RED DATA BOOK FUKUOKA
(<https://biodiversity.pref.fukuoka.lg.jp/rdb/>)

福岡県の希少野生生物
—福岡県レッドデータブック2024—



ズグロカモメ



ヘラサギ



クロツラヘラサギ



ゴイサギ



チュウサギ



コサギ



ハチクマ



アオバズク



ヤマセミ



サンコウチョウ



ウチヤマセンニュウ



タヒバリ